

## 医療従事者の負担軽減及び処遇改善について

当センターでは、医療従事者の負担軽減及び処遇改善のため、以下の取り組みを行っています。

### 業務分担

- ・ 医師事務作業補助者の配置による医師の負担軽減
- ・ 特定行為研修修了看護師の配置による医師の負担軽減
- ・ 看護補助者の配置による看護師の負担軽減
- ・ 看護師による静脈注射、採血、点滴ルート確保の実施
- ・ 看護師による初診時の予診
- ・ タスクシフトの推進による医療従事者の負担軽減、時間外勤務の削減
- ・ 入院支援室の設置による入院時の事前説明
- ・ 病棟薬剤師の配置
- ・ 薬剤師による入院患者の持参薬確認

### 外来診療の適正化の取り組み

- ・ 紹介、逆紹介の推進（紹介率 50%以上、逆紹介率 70%以上を維持）
- ・ 地域医療連携の強化

### 処遇改善

- ・ 院内保育所の設置
- ・ 勤務計画上、2 回以上の連続当直を行わない勤務体制の実施
- ・ 当直翌日の業務内容に対する配慮（職免を導入）
- ・ 複数主治医制の実施
- ・ 患者、家族へのインフォームドコンセントの原則時間内実施
- ・ 日中救急当番医の担当制の実施
- ・ 会議、委員会及び研修等の原則時間内実施
- ・ 夜勤の減免制度の導入
- ・ 半日、時間単位休暇取得
- ・ 育児介護（休暇）制度の充実